

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市燕沢児童館	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 18,866人(前年度比 121.1%) 令和3年度 15,583人 令和2年度 16,768人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 39,036千円 (35,092千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館地域連絡会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

### 三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>燕沢児童館の一番の強みは「地域」です。地域の中で地域の子どもの育ちを支援していくという共通の思いを実現するために、さらに連携を深めているところです。</p> <p>児童健全育成事業では地域ボランティアの方々に協力をいただきながら行事を開催しました。「マジックショー」は家族連れや地域の方など幅広い年代の方が集まり、世代間交流の場にもなりました。「お茶の会」では、日本の伝統である茶道に親しみながら、お茶の苦さを味わい、初めての体験を通して情操を育むことができました。</p> <p>子育て家庭支援事業では、定期的実施するクラブ活動の他に、気軽に参加できる「つばめっこタイム」を実施し、子育て中の保護者同士の交流の場とすると共に、毎日の自由来館へとつなげることができました。近隣4児童館や市民センター等と連携を図りながら実施した広場活動では多くの参加があり、喜んで楽しむ親子の姿が見られました。</p> <p>地域交流推進事業では児童館まつり「つばめっこランド」を実施しました。地域の方々がコーナーを担当し、交流しながら楽しめる館祭りになりました。児童クラブ有志のダンス発表も行い、児童館の日頃の活動を披露することもできました。夕涼み会では地域の方々に協力をいただき、火起こしなど、普段できないことを体験する機会になりました。</p> <p>放課後児童健全育成事業では、毎月学年集会を行い、話し合っ翌月の目標を決め、ポスターにして掲示しています。目標を達成しようとする意識が芽生え、また、自分の考えを言葉で伝えることや友達の見解を聴くことが身に付いてきました。夕方の読書タイムの時間には、3年生以上の有志が毎週水曜日に1年生に読み聞かせを行うなど自主的に活動する様子も見られました。</p> <p>これからも、地域と児童館の連携を大切にしながら子どもたちと保護者を支援してまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、小学生が日常的に児童館を訪れ児童クラブの児童と遊びを通して交流している。中学生は卓球等、遊戯室でスポーツを楽しむ姿が見られ、地域における子ども達の仲間作りの場と放課後の居場所としての役割を担っている。また木工やはたおり等の技術体験をはじめ畑作りや卓球、囲碁等のスポーツ、自然体験と幅広い体験活動の場を地域の人材の協力を得て提供している。地域の方と子ども達の顔の見える関係が構築され、児童館を真ん中に地域と子ども達が繋がりを子どもの育ちを支援している。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、0歳対象の登録制乳幼児クラブは乳幼児親子の触れ合い遊びを通して参加者同士が交流し、地域の子育ての仲間作りの場となっている。その他おはなし会やサロン等の定例行事の他、子育て支援クラブと共催の「ワクワク子育てセミナー」は子育て中は参加が難しいワークショップやハンドメイド教室等を開催し参加者から好評を得ている。</p> <p>地域交流推進事業においては、史跡巡りを通して地域の歴史や地名の由来を知り、夕涼み会の火起こし体験を通して火の正しい扱い方を学ぶ等、地域の方々との交流を通して子ども達の豊かな人間性や考える力を育てている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、学年毎に話し合いを行い子どもが発言しやすい工夫が見られた。毎月の目標を学年毎に掲示して各学年の思いやアイデアを知る事で異学年の相互理解が生まれ、主体的な遊びや生活が可能となるように支援している。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課